

学長定例記者会見要項

日 時： 令和元年6月6日（木） 11：00～11：45

場 所： 法人本部第二会議室（小白川キャンパス法人本部棟4階）

発表事項

1. 東北インカレにおける山形大学陸上競技部の活躍
～女子走幅跳と三段跳の2冠でMVP、男子三段跳4連覇、女子走高跳2連覇～
2. 学生協働と地域連携の持続的推進体制の構築
～地域教育文化学部と（株）飯豊町地域振興公社との連携協定締結～
3. 富樫貴成准教授がインテリジェントコスモス奨励賞受賞
～ 無溶媒条件でハイブリッドナノ粒子を自在に合成 ～
4. 山形大学男女共同参画フェスタ2019を開催します
～ 組織の競争力を高め新しい価値を創造するダイバーシティ経営など紹介～

お知らせ

1. ひと足早く大学生体験 夏休みの山大進学ウィーク
～昨年好評の中学生向けのオープンキャンパスも開催！～
2. 山響常任指揮者 阪哲朗氏による学生の公開レッスンを行います
～山形大学と山形交響楽団の連携による音楽教育推進事業～
3. 「山形大学SCITA(サイタ)センター夏休み自由研究サポート」を開催
4. 附属幼稚園公開講座「すこやか広場」のご案内
5. 大学案内2020が完成しました

(参 考)

- 次回の学長定例記者会見（予定）

日 時：令和元年6月20日（木） 11：00～11：45

場 所：法人本部第二会議室（小白川キャンパス法人本部棟4階）

学長定例記者会見（6月6日）発表者

1. 東北インカレにおける山形大学陸上競技部の活躍

～女子走幅跳と三段跳の2冠で MVP、男子三段跳4連覇、女子走高跳2連覇～

| | | | |
|----------|----|-------------|------------|
| 地域教育文化学部 | 4年 | たかはし 高橋 | かおり |
| 〃 | 4年 | かしわぐら 柏倉 | こうへい 康平 |
| 〃 | 2年 | たけだ 武田 | もか 萌伽 |

2. 学生協働と地域連携の持続的推進体制の構築

～地域教育文化学部と（株）飯豊町地域振興公社との連携協定締結～

| | | |
|-----------------------|------------|------------|
| 地域教育文化学部長 | おおもり 大森 | かつら 桂 |
| 株式会社飯豊町地域振興公社 代表取締役社長 | まつやま 松山 | かずとし 一利 |
| 飯豊町長 | ごとう 後藤 | こうへい 幸平 |

3. 富樫貴成准教授がインテリジェントコスモス奨励賞受賞

～無溶媒条件でハイブリッドナノ粒子を自在に合成～

| | | |
|-------------------|-----------|------------|
| 学術研究院 准教授（ナノ材料化学） | とがし 富樫 | たかなり 貴成 |
|-------------------|-----------|------------|

4. 山形大学男女共同参画フェスタ 2019 を開催します

～組織の競争力を高め新しい価値を創造するダイバーシティ経営など紹介～

| | | |
|----------------------------|------------|-----------|
| 学術研究院 准教授（山形大学男女共同参画推進室担当） | いのうえ 井上 | えいこ 榮子 |
| 学術研究院 准教授（山形大学男女共同参画推進室担当） | ふじむら 藤村 | ゆいこ 維子 |

令和元年（2019年）6月6日

東北インカレにおける山形大学陸上競技部の活躍 ～女子走幅跳と三段跳の2冠でMVP、男子三段跳4連覇、女子走高跳2連覇～

【本件のポイント】

- 高橋かおりさん（地域教育文化学部4年）が女子走幅跳と女子三段跳の2冠に輝き、女子の大会MVPに選出
- 柏倉康平さん（地域教育文化学部4年）は、男子三段跳で優勝し、4連覇を達成
- 武田萌伽さん（地域教育文化学部2年）は、女子走り高跳で優勝し、2連覇を達成



【概要】

5月17日から19日にかけて開催された第72回東北学生陸上競技対校選手権大会（東北インカレ）に、本学陸上競技部44名（男子33名、女子13名）が出場し、4種目で見事優勝を飾りました。

高橋かおりさん（たかはしかおり、地域教育文化学部4年）は、女子走幅跳と女子三段跳で2冠を達成し、大会MVP（女子）に選出されました。女子走高跳では、「福井しあわせ国体2018」で8位入賞の実績をもつ武田萌伽さん（たけだもか、地域教育文化学部2年）が昨年に続き優勝するなど、強さを見せつけたほか、男子三段跳では、柏倉康平さん（かしわぐらこうへい、地域教育文化学部4年）が優勝し、4連覇を達成しました。山形大学の学生がこの大会で4連覇を達成したのは初めてです。その他、5種目で2位、4種目で3位など計29種目に入賞し、対校得点男子フィールドの部第2位、女子総合およびフィールドの部第3位となりました。

また、6月7日から9日にかけて、神奈川県・Shonan BMW スタジアム平塚で行われる「2019日本学生陸上競技個人選手権大会」に、参加標準記録を突破している高橋さん、武田さん、柏倉さんら7名が山形大学から出場する予定となっており、活躍が期待されます。

【大会概要と成績】

◇第72回東北学生陸上競技対校選手権大会（主催：東北学生陸上競技連盟）

・日時と会場：令和元年5月17日～19日 宮城県総合運動公園ひとめぼれスタジアム宮城

・入賞

- ▶高橋かおり（地教4年）女子走幅跳1位（5m91）、三段跳1位（12m51）、100m 5位、4×100m2位、大会 MVP(女子)
- ▶柏倉康平（地教4年）男子三段跳1位（15m58追い風参考）、走幅跳8位
- ▶武田萌伽（地教2年）女子走高跳1位（1m70）
- ▶軽部恭矢（人社2年）男子200m 2位、男子100m 4位 ▶渡辺誠也（工4年）男子15000m 3位、5000m 3位
- ▶松原慎也（医3年）男子3000m 障害3位 ▶井上大樹（地教1年）男子10000m 競歩8位
- ▶石山太一（地教4年）男子走高跳2位 ▶矢作大輔（地教1年）男子走高跳4位
- ▶三宅大誠（地教3年）男子三段跳2位 ▶佐藤 駿（地教2年）男子走高跳8位
- ▶菊地 葵（地教3年）女子200m 4位 ▶大城楓奈（地教2年）女子400m 3位、400m ハードル2位
- ▶榎 千遙（医3年）女子5000m 7位 ▶佐藤 和（地教2年）女子100m ハードル4位
- ▶阿毛清夏（地教4年）女子走高跳4位 ▶佐藤光彩帆（地教2年）女子三段跳6位
- ▶奥瀬由南（工2年）女子ハンマー投6位、円盤投7位
- ▷リレー 女子4×100m 2位、女子4×400m 5位、男子4×400m 6位、男子4×100m 7位

お問い合わせ

山形大学学術研究院 准教授 渡邊 信晃（山形大学陸上競技部部長・監督）

TEL 023-628-4434 メール nobuaki@e.yamagata-u.ac.jp

令和元年（2019年）6月6日

学生協働と地域連携の持続的推進体制の構築 ～地域教育文化学部と（株）飯豊町地域振興公社との連携協定締結～

【本件のポイント】

- 山形大学地域教育文化学部と株式会社飯豊町地域振興公社は、地域資源の有効活用と人材育成を目的として、連携協定を締結。
- 行政機関（飯豊町役場）および金融機関（山形銀行）の協力を得ながら、持続的地域連携を推進し、「実践的教育を核とした持続可能な産学官金連携モデル」を構築。
- 人材育成分野における4者間連携モデルは、国内でも極めて先駆的な取り組み。



【概要】

山形大学地域教育文化学部と株式会社飯豊町地域振興公社は、飯豊町役場と山形銀行の協力のもと、2016年度から、学生アイデアの実用化や地域就職など地域連携を推進してきました。このたび、地域資源の有効活用と人材育成を目的として、連携協力に関する協定書を取り交わしました。地域社会の人材教育・育成分野における産学官金4者間の連携モデルは、国内でも極めて先駆的な取り組みです。「実践的教育を核とした持続可能な産学官金の連携モデル」を確立することで、「ヒト・モノ・カネ・情報の好循環」を実現し、地域変革のエンジンとなりうる人材育成と活力ある個性豊かな地域社会の形成と発展に寄与することを目指します。

【経緯】

山形県内の山間地方における過疎化や高齢化は、深刻な課題となっており、地域食材による6次産業を起点とした地域活性化が期待されています。山形大学地域教育文化学部では、実践型野外実習「フィールドプロジェクト」を必修と位置づけ、地方自治体や地域企業と協働し、地域活性化や町おこしを通じて、学生の卒業後の社会実践力を育成しています。その中で、（株）飯豊町地域振興公社とは、飯豊町役場と山形銀行の協力のもと、地域活性化に向けた商品の共同開発を進めてきました。2018年3月には試験販売された「ひょうを使ったおやき」を発表しましたが、その後、飯豊町産のトマトや地元味噌を使った異なる3種類の商品を開発し販売するまでに至りました。

このような両者の連携は、文部科学省の「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」で飛躍的に進展したのですが、補助事業の継続如何に関わらず、今後も継続的に連携を推進していくことに合意しました。

【協定の内容】

協定の名称：山形大学地域教育文化学部と株式会社飯豊町地域振興公社との連携協力に関する協定

締結年月日：令和元(2019年)6月6日

期間：締結日から1年間（更新有り）

連携して協力する事項：

- (1) 実践的教育を核とした人材育成に関すること。
- (2) 地域産業振興、新産業創出に関すること。
- (3) 地域社会で活躍する学生教育および地域資源等を活用する研究開発に関すること。
- (4) 個性豊かな地域社会の形成と発展にむけたまちづくりに関すること。
- (5) その他目的を達成するために必要な事項に関すること。

お問い合わせ

学術研究院准教授 小酒井貴晴（栄養生理学）

TEL 023-628-4354 メール takaharukozakai@e.yamagata-u.ac.jp

【今後の展望】

今年度は、外国人旅行者を意識したひょうのお土産品やワラビのメニュー開発などを実施予定としており、既に4月から一部取り組みを始めています。6月15日には現地実習をする予定です。

お互いが有する、「知」「技術」「ヒト」「ネットワーク」を集結し、「実践的教育を核とした持続可能な産学官金の連携モデル」を確立することで、「ヒト・モノ・カネ・情報の好循環」を実現し、地域を担う人材育成と活力ある個性豊かな地域社会の形成と発展に寄与することを目指します。人材育成分野における4者間連携モデルは、国内でも極めて先駆的な取り組みです。山形大学の実践的教育が核となり、地域変革のエンジンとなることが期待されます。

令和元年（2019年）6月6日

富樫貴成准教授がインテリジェントコスモス奨励賞受賞 ～無溶媒条件でハイブリッドナノ粒子を自在に合成～

【本件のポイント】

- 有機無機ハイブリッドナノ粒子を無溶媒で合成
- ナノ粒子合成の際、排出される廃液を劇的に低減
- 様々なナノ粒子のサイズを自在に制御



ナノ粒子の電子顕微鏡像と分散液

【概要】

富樫貴成准教授(ナノ材料化学/理学部担当)が第18回インテリジェントコスモス奨励賞を受賞しました。この賞は、科学技術分野において優れた研究テーマをもつ将来有望な若手研究者、および東北の産業支援に貢献する優れた研究技術の開発に贈られるものです。富樫准教授は「融解金属錯体分解法による有機無機ハイブリッドナノ粒子のテーラーメイド合成」に関する研究業績により授与されました。本研究では、低温で融解する金属錯体を擬似的な液相反応場とした金属・金属酸化物からなる有機無機ハイブリッドナノ粒子合成法の開発に関するものであり、この成果により合成時の廃液の劇的な低減およびハイブリッドナノ粒子の精密なサイズ制御が可能となりました。

【背景】

有機分子により表面を被覆された無機ナノ粒子(=ハイブリッドナノ粒子)は、様々な溶媒へ分散し、金属・金属酸化物を溶液として扱うことが可能となります。現在これらハイブリッドナノ粒子は、電子デバイス部材のみならず、薬剤などへの応用も提案されるナノテクノロジーを支える材料群の一つとなっており、その需要は高まっています。一方で、これらハイブリッドナノ粒子の多くは希薄な溶液を用いた液相法により合成されているため合成の際、大量に排出される廃液に伴う合成コストが社会実装の大きな壁となっています。

【研究手法・研究成果】

本研究では、シュウ酸錯体にアルキルアミンを融合した、アルキルアミン融合シュウ酸錯体を合成しました。この錯体は100~200°C程度の温度で液体のように振る舞う性質があります。この錯体自体を液相の反応場として利用し、サイズの揃った有機無機ハイブリッドナノ粒子の合成に成功しました。

さらに、熱分解後にシュウ酸塩が二酸化炭素へと変化する特徴をに着目して、逐次的なシュウ酸錯体の添加・分解によりサイズをコントロールすることも可能です。合成されるナノ粒子のサイズは古典的な結晶成長理論に従いコントロール可能で、その精度は現在1ナノメートルオーダーです。

現在までに、本手法により合成可能な有機無機ハイブリッドナノ粒子の材質は、銀、銅、酸化鉄、酸化スズとバリエーションは広く、現在も、他の材質のナノ粒子合成を展開しています。

【今後の展望】

今回紹介した合成法により、研究室レベルの環境でも1g・程度の有機無機ハイブリッドナノ粒子が簡単に合成可能となりました。今後は、有機無機ハイブリッドナノ粒子を原料として用い、自然界には存在しない新たな材料群の合成へと展開します。また、共同研究を通じ有機無機ハイブリッドナノ粒子の社会実装の一助となればと思います。

※用語解説

1. 金属錯体：金属イオンに分子やイオンが配位結合した化合物。
2. ナノメートル：1メートルの10億分の1の大きさ(=100万分の1ミリ)
3. 無機ナノ粒子：直径1~100nmの金属・金属酸化物など無機材料の粒

お問い合わせ 学術研究院 准教授 富樫貴成 (ナノ材料化学)
TEL 023-628-4599 メール togashi@sci.kj.yamagata-u.ac.jp

令和元年（2019年）6月6日

山形大学男女共同参画フェスタ2019を開催します ～組織の競争力を高め新しい価値を創造するダイバーシティ経営など紹介～

【本件のポイント】

- 男女共同参画週間にあわせ、6月25日(火)～7月19日(金)に山形大学男女共同参画フェスタ2019として、男女共同参画セミナー及びパネル展を開催します。
- セミナーは、「ダイバーシティが拓く山形の未来」をテーマに、組織の競争力を高め、新しい価値を創造するダイバーシティ経営についての講演を企画しました。



【概要】

男女共同参画週間に合わせ、6月25日(月)～7月19日(金)の期間、山形大学男女共同参画フェスタ2019を開催します。期間中は、男女共同参画セミナーと2つのキャンパスでパネル展を開催します。今回の男女共同参画セミナーは、ダイバーシティが拓く山形の未来をテーマに、組織の競争力を高め、新しい価値を創造するダイバーシティ経営について、講演会を開催します。講師には、ダイバーシティ2.0を推進する経済産業政策局 経済社会政策室長（予定）とダイバーシティ推進に関する制度整備、啓発活動を担当してこられた帝人株式会社人材部の日高乃里子氏をお迎えします。これからの地域や組織の活性化を考える上で、有意義な機会となると考えており、企業関係者をはじめ様々な立場の方のご参加をお待ちしています。

また、女性研究者の活躍促進を図るために山形大学、大日本印刷株式会社研究開発センター及び山形県立米沢栄養大学の3機関が、平成27年度から取り組んでいる文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（連携型）」の事業報告も行います。

【山形大学男女共同参画フェスタ2019】

1. 男女共同参画セミナー ～ダイバーシティが拓く山形の未来～

今年度の男女共同参画セミナーは、これからの時代に組織の競争力を高め、新しい価値を創造するダイバーシティ経営について、経済産業政策局 経済社会政策室長（予定）と帝人株式会社人材部日高乃里子氏を講師にお迎えします。

なお、平成30年4月1日より山形県内の14高等教育機関が連携してダイバーシティの推進を図るため、「大学コンソーシアムやまがた」に「ダイバーシティ推進ネットワーク会議」が設立され、昨年度は交流を深めてきました。今年度の男女共同参画セミナーも共催しており、各機関から委員が参加します。

日時：令和元年7月5日（金）15：00～17：00

場所：山形大学法人本部第1会議室・各キャンパスTV会議室

内容：（1）「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（連携型）」事業報告^(※)

（2）講演 経済産業政策局 経済社会政策室長（予定）

演題「ダイバーシティ2.0 一歩先の競争戦略へ」

（3）基調講演 帝人株式会社人材部 日高 乃里子 氏

演題「ダイバーシティが組織・企業・大学を強くする」

申込：FAX、電話、メールで申込み（参加無料、当日参加も可能）

2. パネル展

ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブの取組、研究シーズ集、LGBT など

小白川キャンパス：6月25日(火)～7月8日(月) 学生会館1階

米沢キャンパス：7月12日(金)～7月19日(金) 4号館1階

お問い合わせ・お申し込み 男女共同参画推進室

Tel：023-628-4937/4938/4939 Email: y-danjo@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

※ 山形大学、大日本印刷株式会社研究開発センター及び山形県立米沢栄養大学の3機関は、文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（連携型）」に平成27年度に採択され、女性研究者の活躍促進を図るために各種の事業を連携して展開しています。

男女共同参画セミナー

～ダイバーシティが拓く山形の未来～

2019年7月5日(金) 15:00～

山形大学小白川キャンパス 法人本部 第1会議室

TV配信予定 ■飯田キャンパス：看護学科棟第二会議室（TV会議室）

■米沢キャンパス：管理棟3階テレビ会議室

■鶴岡キャンパス：農学部テレビ会議室 ※申込みが無い場合は配信中止

対象：大学・企業・行政の管理職、研究者、職員等、どなたでも

講演

ダイバーシティ2.0 一歩先の競争戦略へ

経済産業省 経済産業政策局
経済社会政策室

申込締切
6/25

基調講演

ダイバーシティが組織・企業・大学を 強くする

日高乃里子 氏

帝人株式会社人材部

ダイバーシティ推進室



PROFILE

薬学部卒業後、製薬会社に入社。放射性体外診断薬の開発・学術を担当。
結婚を機に退職し、大阪市内の調剤薬局で働く。その後、帝人株式会社に入社。
医薬事業本部で医薬情報担当者（MR）の教育、新薬講演会の企画等の学術担当として勤務。

1992年に長女を出産し、育児休暇を取得し、半年後に復帰。

2012年に、社内公募にチャレンジし、現職となり、帝人グループのダイバーシティ推進に関する制度整備、啓発活動を担当。

社内のみならず、企業で働く女性のネットワーク、ダイバーシティ推進担当者の勉強会や地域活動等でも、多様な人々と知恵や勇気を共有する経験を重ねている。

申込み・問合せ先 山形大学男女共同参画推進室

TEL 023-628-4937・4938 FAX 023-628-4014

Email y-danjo@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

▶WEB申込みは3F5



▶WEB申込みは3F5

▶WEB申込みは3F5

男女共同参画セミナー

～ダイバーシティが拓く山形の未来～

山形大学、大日本印刷株式会社研究開発センター及び山形県立米沢栄養大学は、文部科学省 科学技術人材育成費補助事業ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（連携型）に採択され、連携して女性研究者の活躍推進を図るため、各種の事業を展開しています。

このたび、事業の理解促進と事業成果の波及を目指し、これからの時代に組織の競争力を高め、新しい価値を創造するダイバーシティ経営をテーマにセミナーを実施します。

申込み
期限

2019年6月25日(火)

切り離し不要。このままお送りください。

申込書

FAX：023-628-4014

連絡先等をご記入ください。※選択項目はレ点をご記入ください。

| | | | | |
|--|--------------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|
| お名前 | | | | |
| 所属先 | | | | ※学生のみ 学年（ ） |
| 電話番号 | | | | |
| Eメール アドレス | | | | |
| 参加を希望する会場を選択してください（複数選択可） | | | | |
| 7/5（金） | <input type="checkbox"/> 小白川 （現地） | <input type="checkbox"/> 飯田 （TV会議） | <input type="checkbox"/> 米沢 （TV会議） | <input type="checkbox"/> 鶴岡 （TV会議） |
| 【託児希望】 <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし | | | | |
| 託児を希望される場合は、6月15日までにお知らせください。 別途、託児に必要な情報を確認させていただきます。 | | | | |

※ご記入いただいた個人情報は、厳密に管理し、他には一切使用いたしません

電話・メール・Web申込みはコチラ

山形大学男女共同参画推進室

TEL 023-628-4937・4938 FAX 023-628-4014

Email y-danjo@jm.kj.yamagata-u.ac.jp



令和元年(2019年)6月6日
山形大学

* 詳細は別添の資料をご覧ください。

1. ひと足早く大学生体験 夏休みの山大進学ウィーク

～昨年好評の中学生向けのオープンキャンパスも開催！～

夏休みの中学生、高校生向けの進学イベントの日程が決まりました。各キャンパスにおけるオープンキャンパスに加え、昨年から開催している中学生対象のジュニアキャンパスは、好評につき定員を増やして開催します。

なお、例年同時期に県内高校生を対象に開催していた「アカデミックキャンプ」は「オータムキャンパス」と名称を変え、10月に開催します。今回は県内高校性に限定せず実施予定です。

2. 山響常任指揮者 阪哲朗氏による学生の公開レッスンを行います

～山形大学と山形交響楽団の連携による音楽教育推進事業～

平成29年度から山形交響楽団との連携による音楽教育推進事業として、山形交響楽団定期演奏会における招聘音楽家を本学に招き、学生への公開レッスンを実施しています。阪氏は3回目の指導です。

日 時：7月21日（日）14:00開演

会 場：山形大学文化ホール（小白川キャンパス）

入場料：無料

3. 「山形大学SCITA(サイタ)センター夏休み自由研究サポート」を開催

学生たちが小学生の自由研究をサポートします。参加者と相談しながらテーマ設定、実験手法、調査方法を探りながら、研究発表ができるまで指導します。参加無料。

開催日時：8月7日（水）～9日（金）10時～16時頃

定 員 等：各日5名～10名（応募多数の場合は抽選）

申 込 み：チラシ裏面の申込書により6月21日（金）までに申し込んで下さい。

4. 附属幼稚園公開講座「すこやか広場」のご案内

附属幼稚園では、未就園のお子さんを対象に、子育て事業として「すこやか広場」を開催しています。共に子育てについて考えたり、親子で遊んだりする場として、今年度は3回(6/27、9/5、1/21)の開催を予定しています。

5. 大学案内2020が完成しました

山形大学のガイドブック「大学案内2020」が完成しました。中高生のみなさん方が、学生生活をイメージしたり、卒業後のキャリアを思い描いたりできるように、様々なシーンの写真や先輩達の声を数多く掲載しています。各学部の入試担当窓口や、小白川キャンパスのインフォメーションセンターなどで配布しており、6月中旬からはホームページでもご覧いただけます。（現在は「大学案内2019」を掲載中）

令和元年（2019年）6月6日

ひと足早く大学生体験 夏休みの山大進学ウィーク

～昨年好評の中学生向けのオープンキャンパスも開催！～

【本件のポイント】

- 夏休み前半にあわせて、7月27日（土）～8月8日（木）に、中学生・高校生向けのイベントを開催する。
- 山形大学の講義を受講したり、キャンパス内を見学したりと、大学での学びや生活を一足早く体験できる。
- 昨今のキャリア教育の低年齢化にあわせ、中学生向けオープンキャンパス「ジュニアキャンパス」を昨年好評につき今年も開催する。



【概要】

山形大学では、7月27日（土）～8月8日（木）に、中学生・高校生向けのイベントを開催します。

「オープンキャンパス」は、キャンパスごとに行われる毎年恒例のイベントです。各学部説明や体験授業、施設見学、入試や大学生活に関する各種相談ができます。イベント満足度は90%以上となっており、昨年度の来場者数は、4キャンパスあわせて約7,000人と、人気のイベントです。

「ジュニアキャンパス」は、昨年度初開催し、約80名の中学生に参加いただいたイベントです。キャリア教育の低年齢化に伴い、本学への中学生による大学見学が年々増加傾向にある背景をふまえ、早い段階での高等教育機関への意識付けを目的に実施するものです。キャリア教育に関わる授業のほか、文系、理系（実験）の授業をそれぞれ1つずつ受講いただけます。また、本学学生との交流も兼ねた学食体験やキャンパスツアーなども予定しています。昨年好評につき、今年は定員を先着100名とし開催します。

また、例年同時期に開催していた「アカデミックキャンプ」は「オータムキャンパス」と名称を変え、10月に開催します。昨年は県内の高校生が対象でしたが、今回は地域を限定せずに実施予定です。本学の教育の特徴である「アクティブラーニング型」の授業を体験いただくことその他、本学の魅力を感じていただける各種イベントを計画しています。詳細は決まり次第本学ホームページ等でお知らせします。

【イベント日程】

| | | |
|----------|-----------|--------------------------------|
| 7月27日（土） | オープンキャンパス | 飯田キャンパス（医学部） |
| 7月28日（日） | 〃 | 鶴岡キャンパス（農学部） |
| 8月2日（金） | 〃 | 米沢キャンパス（工学部） |
| 8月3日（土） | 〃 | 小白川キャンパス（人文社会科学部、地域教育文化学部、理学部） |
| 8月8日（木） | ジュニアキャンパス | 小白川キャンパス |
| 10月開催予定 | オータムキャンパス | 小白川キャンパス |

お問い合わせ

山形大学エンrollment・マネジメント部 EM 企画課
TEL 023-628-4062、4063

【イベント内容】

①オープンキャンパス

- 日時・場所： 7月27日（土） 飯田キャンパス（医学部）
7月28日（日） 鶴岡キャンパス（農学部）
8月 2日（金） 米沢キャンパス（工学部）
8月 3日（土） 小白川キャンパス（人文社会科学部、地域教育文化学部、理学部）
- 対象： 主に高校生を対象としていますが、どなたでもお越しいただけます。
- 定員： なし。ただし体験授業等、一部は定員あり。
- 内容： キャンパスごとに各学部説明や体験授業、施設見学、各種相談。小白川キャンパス及び米沢キャンパスでは、保護者向け大学説明会も実施
- 申込： 体験授業等の申込を本学ホームページで6月下旬頃から開始

②ジュニアキャンパス

- 日時： 8月8日（木）
- 場所： 小白川キャンパス
- 対象： 中学2・3年生
- 定員： 先着100名
- 内容： 体験授業（キャリア教育に関する授業のほか、文系、理系（実験）の授業をそれぞれ1つずつ受講）
山形大学の学食体験
キャンパスツアー
山形大学生との交流会
- 申込： 本学ホームページで7月上旬頃から開始

令和元年（2019年）6月6日

山響常任指揮者 阪哲朗氏による学生の公開レッスンを行います ～山形大学と山形交響楽団の連携による音楽教育推進事業～

【本件のポイント】

- オペラ指揮者、山形交響楽団の常任指揮者として活躍する阪哲朗氏による公開レッスン。
- 平成29(2017)年度から実施している山形交響楽団との連携による音楽教育推進事業で、今回で6回目。（阪氏は昨年に続き3回目）
- 学生にとっては、世界で活躍するプロの音楽家から直接指導を受けられる絶好の機会。



昨年度のレッスンの様子

【概要】

地域教育文化学部では、平成29年度から山形交響楽団との連携による音楽教育推進事業として、山形交響楽団定期演奏会における招聘音楽家を本学に招き、地域教育文化学部音楽芸術コースおよび文化創生コースの学生への公開レッスンを実施しています。第6回目となる今回は、オペラ指揮者として活躍し、今年度より山形交響楽団の常任指揮者に就任した阪哲朗氏を講師としてお迎えして、7月21日（日）に実施します。ヨーロッパの歌劇場で活躍し、オペラに深く精通する、同氏のレクチャーをはさみながらの公開レッスンとなります。学生たちにとっては、世界で活躍するプロの音楽家から直接指導を受けられる絶好の機会です。地域の皆さま方とこの貴重な時間を共有するためにレッスンを公開いたします。

【開催情報】

日時 令和元年7月21日（日） 14:00 開演
会場 山形大学文化ホール（小白川キャンパス）
入場料 無料

プログラム

モーツァルト 歌劇「フィガロの結婚」
モーツァルト 歌劇「コジ・ファン・トゥッテ」
以上より重唱曲（詳細は決まり次第HPで掲載していきます）

<参考>過去の公開レッスン開催日/講師

平成29年5月11日/チェリスト・指揮者 鈴木秀美氏
平成29年9月1日/オペラ指揮者 阪哲朗氏
平成30年6月8日/ホルン奏者・指揮者 ラデク・バボラーク氏
平成30年8月30日/オペラ指揮者 阪哲朗氏
平成30年11月13日/チェリスト・指揮者 鈴木秀美氏

お問い合わせ

学術研究院教授（地域教育文化学部主担当） 渡辺 修身
TEL 023-628-4336 メール sammy@e.yamagata-u.ac.jp

しょうへい 招聘音楽家による 公開講座

2019

山形大学では、「山形交響楽団との連携による音楽教育推進事業」として、2017年度より、山形交響楽団定期演奏会の招聘音楽家による公開講座を行っています。

2019年度は、ヨーロッパ各地の歌劇場で活躍し、本年度より山形交響楽団の常任指揮者に就任した、阪哲朗氏をお招きし、地域教育文化学部の学生への「オペラを題材とした公開レッスン」を行います。

また、古典派音楽に造詣が深い、チェリスト・指揮者の鈴木秀美氏をお招きし、「J.S.バッハ／無伴奏チェロ組曲を中心に、レクチャー・コンサート」を行います。

興味のある方は、どなたでも聴講できます。

ぜひ、会場へお越しください。

第6回

2019 7/21 SUN 14:00~

講師紹介 阪 哲朗 [指揮]

欧米での客演が数多く、主にドイツ、オーストリア、スイス、イタリアなどでオーケストラ、歌劇場に招かれ成功を取っている。これまでに、ウィーン・フォルクスオーパーをはじめ、シュトゥットガルト歌劇場、スイス・バーゼル歌劇場などで多くの作品を指揮。日本ではNHK交響楽団をはじめ各地の主要オーケストラ、新国立劇場、二期会などのオペラ団体を指揮している。1995年「第44回ブザンソン国際指揮者コンクール」優勝。ベルリン・コミッシュ・オーパー専属指揮者、アイゼナハ歌劇場(ドイツ・チューリンゲン州)音楽総監督、レーゲンスブルク歌劇場(ドイツ・バイエルン州)音楽総監督(GMD)等を歴任。2019年4月より、山形交響楽団常任指揮者に就任。

第7回

2019 11/19 TUE 18:30~

講師紹介 鈴木 秀美 [チェロ・指揮]

チェロ、指揮、執筆、録音ディレクター、教育と活動は多岐にわたり、サントリー音楽賞、齋藤秀雄メモリアル基金賞ほか多数を受賞。2001年《オーケストラ・リベラ・クラシカ》を創立。国内外の交響楽団に指揮者及びソリストとして客演している。1995年に日本人としては初めての、オリジナル楽器による「バッハ／無伴奏チェロ組曲全曲」を録音し、同年度文化庁芸術作品賞を受賞するなど録音も多数に上る。著書に『「古楽器」よ、さらば!』(音楽之友社)、『カット・カフェ』(無伴奏チェロ組曲)(東京書籍)、『通奏低音弾きの言葉では』(アルテスパブリッシング)。東京音楽大学チェロ科客員教授、東京藝術大学古楽科講師、山形交響楽団首席客演指揮者。

【曲 目】未定(決まり次第、地域教育文化学部HPへ掲載致します。) HP: <http://www.e.yamagata-u.ac.jp/>

【場 所】第6回: 山形大学文化ホール / 第7回: 文翔館議場ホール 《各回入場無料》

【お問い合わせ】渡辺修身研究室 TEL: 023-628-4336 Mail: sammy@e.yamagata-u.ac.jp

令和元年（2019年）6月6日

「山形大学SCITAセンター夏休み自由研究サポート」を開催

【本件のポイント】

- 小学生の夏休みに課題として出される自由研究を学生がサポートします。
- どんなことを研究すればいいのかという相談から、どんな方法で実験をすればいいのか、まとめ方はどうしたらいいのか、といった悩みの解決方法を学生スタッフが一緒に考えていきます。
- 山形大学SCITAセンター学生スタッフは全部で約50名今回は約10名のスタッフでお手伝いします。



【概要】

山形大学 SCITA センターでは、山形大学 SCITA センター学生スタッフとして所属する約50名の学生たちが、地域のイベントで理科実験を行うなど、科学を通じた地域との交流を積極的に行っています。

毎年、夏休みには小学生の自由研究をサポートする活動を行っており、学生スタッフが小学校の自由研究のテーマ決定から実際の実験・調査の手法やまとめ方、発表の方法まで指導して科学の楽しさ、不思議さを伝えます。昨年度は、4日間で延べ37人の小学生のサポートを行いました。今年の開催は、8月7日（水）～9日（金）の3日間。期間中は、学生スタッフ約10人が指導にあたります。

【講座内容】

- 開催日時：令和元年 8月 7日（水）～ 9日（金） 10時～16時頃
開催場所：山形大学 SCITA センター（山形市小白川町一丁目4-12 山形大学小白川キャンパス）
講座内容：参加者と山形大学 SCITA センター学生スタッフが相談しながらテーマ設定、実験手法、調査方法を探りながら、研究発表ができるまで指導します。

【申込方法等】チラシ裏面の申込書により6月21日（金）までに申し込んで下さい。

（各日定員5名～10名／応募多数の場合抽選）

受講料 無料

※ SCITA センターは、理科学習の普及活動を促進するための本学独自の「やまがた未来科学プロジェクト」に基づき、科学的思考能力を備えた将来の山形あるいは日本を支える人材を育成する目的で設置されました。小学生から大人まで、全県民を対象に開催する体験型の科学実験教室プログラムが提供できる施設として、毎年、小学生から高校生、教員研修等で4,100人以上の方に利用いただいております

お問い合わせ
山形大学 SCITA センター（棚井）
電話 023-628-4517

夏休み自由研究サポート

日時 2019年8月7日(水)～9日(金)

(午前の部 : 10:00～12:00 午後の部 : 13:00～16:00)

※7日は午後の部のみ

場所 山形大学小白川キャンパス SCITAセンター
(山形市小白川町一丁目4-12 理学部棟1号館)

自由研究のテーマ決めや実験調査の手法
まとめ方などをサポートさせていただきます



募集人数

※参加費は**無料**です

| 8/7(水) | 8/8(木) | 8/9(金) |
|--------|--------|--------|
| 5人 | 10人 | 10人 |

申込締切 : 2019年6月21日(金)

※募集人数を超えた場合は、抽選を行います

必要事項をご記入の上、郵送・FAX・メールの
いずれかにてお送り下さい

夏休み自由研究サポート 申込書

| | | | | |
|--------|------|-----|----|----|
| | フリガナ | | | |
| 参加者氏名① | | | | |
| | 年齢 | 才 | 学年 | 年生 |
| | 性別 | 男・女 | | |

| | | | | |
|--------|------|-----|----|----|
| | フリガナ | | | |
| 参加者氏名② | | | | |
| | 年齢 | 才 | 学年 | 年生 |
| | 性別 | 男・女 | | |

| | | |
|-------------|------|--|
| | フリガナ | |
| 保護者氏名 | | |
| 住所 | 〒 | |
| mail | | |
| TEL (緊急連絡先) | | |

- 個人情報は厳重に管理し、山形大学 SCITA センター夏休み自由研究サポート以外の目的では使用いたしません。
- 兄弟で参加希望の際は、参加者氏名②の欄をご利用ください。

● 参加希望日時：第 1 希望には①を、同様に第 2 希望・第 3 希望まで数字をお書きください。

| | 8/7(水) | 8/8(木) | 8/9(金) |
|------|--------|--------|--------|
| 午前の部 | | | |
| 午後の部 | | | |
| 全日参加 | | | |

※定員人数を超えた場合は抽選を行い、抽選の結果は7月上旬にメールにてお知らせ致します。

※全日参加の方は昼食を各自ご持参ください。

- **ご要望等**ありましたら、こちらにお書きください。例) お友達の〇〇さんと一緒に参加したいので、同じ日時に入れてほしい。

申込先

〒990-8560 山形市小白川1丁目4-12 山形大学 SCITA センター

TEL・FAX : (023) 628-4517 E-mail : scita_staff@sci.kj.yamagata-u.ac.jp

HP : <http://www.yamagata-u.ac.jp/scita/> 担当 : 中川・萩野・根本

「すこやか広場」のご案内

本園では、未就園のお子さんを対象に、子育て事業として「すこやか広場」を開催しています。すこやか広場は、本園を地域の皆さんに知っていただき、共に子育てについて考えたり親子で遊んだりする場です。お誘い合わせの上、お気軽に遊びにいらしてください。

第1回「お友達、こんにちは」～幼稚園で遊ぼう～

日時：6月27日（木） 14:30～15:45（受付14:15～）

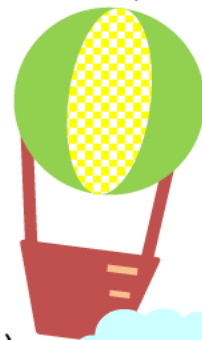
対象：2～3歳児 親子50組

持ち物：内履き、飲み物など

参加費：200円（材料費・保険代など）

申込期間：6月10日（月）～6月14日（金）

※参加票をダウンロードし、記入の上、当日の受付でご提出ください。



第2回「親子でぺたぺた、まぜまぜしよう」～造形あそびを楽しもう～

日時：9月5日（木） 14:30～15:45（受付14:15～）

対象：2～3歳児 親子50組

持ち物：内履き、着替え、タオル、飲み物など

参加費：200円（材料費・保険代など）

申込期間：8月21日（水）～8月27日（火）

※絵の具などを使って遊びますので、汚れてもよい服装でご参加ください。

※参加票をダウンロードし、記入の上、当日の受付でご提出ください。

第3回「お兄さんお姉さんといっしょに遊ぼう」～附幼のお友達との交流～

日時：1月21日（火） 10:00～11:15（受付9:45～）

対象：2～3歳児 親子20組

持ち物：内履き、飲み物など

参加費：200円（材料費・保険代など）

申込期間：1月8日（水）～1月14日（火）

※参加票をダウンロードし、記入の上、当日の受付でご提出ください。



<申込方法> 申込期間中に電話で、または幼稚園窓口へ直接お申し込み

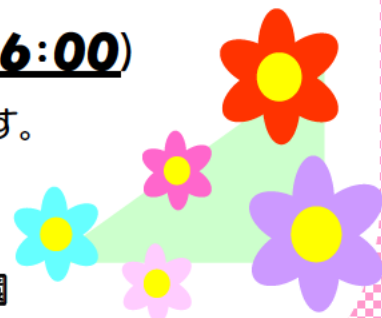
ください。**（申込受付時間 14:00～16:00）**

※定員になり次第、締め切らせていただきます。

参加申し込み・問い合わせ先

〒990-0023 山形市松波2-7-1

Tel (023) 641-4446 山形大学附属幼稚園



幼稚園西側駐車場は使用できません。各自ご都合くださるようお願い致します。